

2024年 5月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	146.1
阪神梅田本店	108.9
支店計	112.0
全店計	129.1

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- ゴールデンウィークは、遠方からのお客様や帰省客など幅広い層のご来店で、都心店を中心に店頭が賑わいを見せ、売上高は順調に推移した。また母の日や、引き続きインバウンドの活況もあり、全店売上高は前年に対して約3割増と実績を大きく上回る結果。中でも阪急本店の売上高前年比は約5割増と全体を牽引。
- 免税売上高は前年に対して約4.0倍、阪急本店は約4.1倍と引き続き好調で、ゴールデンウィーク後も高い水準で推移し、同月の売上高では12ヶ月連続で過去最高を更新。また単月の売上高としては4ヶ月連続で過去最高を更新。

○ 阪急本店の概況

- 5ヶ月連続で、同月の売上高において過去最高を更新。
- 今月も婦人・紳士ファッション全般が好調で、インバウンドのお客様の売上も押し上げとなり各カテゴリーの売上高は前年に対し2割を上回る高い伸びを示した。特にアクセサリやバッグ、インターナショナルファッションや宝飾品の売上高は前年の5割を上回る伸長率で牽引。婦人ファッションでは、ゴールデンウィークの旅行やお出かけにも着用できるデイリーニーズのドレスが好調。また、服飾雑貨では帽子やスニーカー、サンダルの需要が高く、紳士ではTシャツやカジュアルシャツ、スニーカーなどのカジュアルアイテムが人気。
- 母の日に向けては、服飾雑貨を中心に当日の3・4日前から需要が高まり、機能性のあるスカーフや帽子を選ばれる方が多かった。一方、高額なバッグや財布を贈られる方も見受けられ、ギフト需要は二極化の傾向。また、アクセサリやバッグ、婦人靴では母親と一緒にご来店の上、娘様ご購入されるというケースも多数。
- 100万円以上の高額品の売上高は、前年の約7割増と引き続き高い伸びを示した。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度											2024年度	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
阪急本店	113.3	118.8	115.9	125.9	126.1	116.7	116.1	115.1	120.2	132.0	130.0	129.6	146.1
阪神梅田本店	117.1	107.9	118.0	133.5	158.3	104.4	150.0	111.9	117.6	119.1	107.0	105.8	108.9
支店計	115.6	109.6	114.9	118.4	116.3	110.8	112.0	108.5	110.0	115.5	111.4	110.2	112.0
全店計	114.5	114.1	115.8	123.8	126.3	113.2	118.0	112.3	116.0	124.5	119.9	119.8	129.1

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	99.6

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	96.0

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181